

## 屯田防風林と創成川 (札幌市北区)

矢野 玲子

未知の土地で案内書を見ながら、まだ見ぬ鳥を探すのも面白いが、見慣れた所で意外な鳥に出会うのも嬉しいものだ。先日、買物帰りに寄った屯田防風林でヤマガラを見た。探鳥を始めてから6年、ずうっと通い続けているのにここでヤマガラには会っていなかった。初めて出会った鳥の時のように胸がときめいた。

札幌の都心から北へ6キロ、新琴似と屯田を分けて屯田防風林はある。東西へ3キロのこの林はヤチダモ、クロポプラを主体とした31科74種の樹木が生え(五十嵐博「屯田植物リスト」より)、鳥の好きな木も多い。



屯田防風林と創成川 (札幌北区)

3月の末、あちこちでカワラヒワの囀りが始まる。続いてキジバト、アオジ、ウグイス。蝦夷山桜の花がほころび始めると必ず現れるメジロ達、チイチイと鳴きながら花から花へと移るさまはとても愛らしい。この頃になるとアカハラ、セソダイムシクイ、オオルリ、キビタキ、ルリビタキ、コサメビタキも揃い見る楽しみは増す。

多くは3日から2週間の滞在で姿を消すが、営巣する鳥もいる。初夏、ヤチダモやドイトウヒの上の方からトビ、チゴハヤブサ、ハシブトガラスの雛の音が聞える。また巣に餌を遊ぶシジュウカラやコムクドリなどを見つけたりする。

落葉をカサコソと踏みながら歩く頃、低木の繁みから突然ミソサザイが出て驚かされる。雪が積もっても道はあるが、カラ、ゲラ類、ヒヨドリ、ツグミ、シメ程度である。ハイタカの狩に出逢うこともあるがこんな時は本当にラッキーだ。

屯田防風林の東側に創成川がある。ここは凍らない。12月になると創成川下水処理場から屯田3番通橋の間はマガモ、コガモで賑やかになる。よく観察するとオナガガモ、カワア

イサ、ウミアイサ、キンクロハジロが混っている。去年はアメリカコガモ、マガンが確認された。

川岸のポプラ並木にはキレンジャク、アトリ、マヒワの訪れもある。オジロワシがやって来るのもこの頃だ。1月になるとコガモの求愛が始まる。1羽の雌を10羽前後の雄がとり囲み、ピリッピリッと笛のような声で求愛するのは微笑ましい。

屯田防風林も創成州も特別な鳥はいないけれど間近かに鳥を見るにはよい所。通りがかったら、ちょっと寄ってみては如何。